（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	サンクス氷式・アフタースクール氷口町

公表日　令和８年　５月　１日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・支援の用途にあったスペースの確保や、そのスペースの环境等を定期的やすうえの違に応じてあります。 ・フンコロアー子ども1人のための広い面積を確保かせるように努めております。	今後も活動や利用者様の特性に適切な環境設定を継続していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・個別サポートや面談を設けることで多くの人数を配置しております。	配置基準を遵守して配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・個別にはすすりを設置しております。 ・フンコロアー各区切って距離を用意で確保しております。	配慮の必要な箇所に関しては、今後も継続し、て実施していきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	○		・定期的に職員全体で調査を行い、清潔な環境を維持してあります。 ・子どもたちに段階の構造化設け、身辺等を育てながら、職員が見守る体制にしております。	今後も継続して実施していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・子どもの特徴が不安定になった際、静養室などの個別空間を活用し、他の児童が干渉しない環境で落ち着いたり、クールダウンを行うことをしております。 ・静養室を確保しております。	配慮が必要な箇所に関しては、今後も継続して実施していきます
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・目標設定は職員間でしっかりと行い、全員で共有してあります。 ・終わったあとは事後に必要の定めの時間を設け、業務改善に活かせるよう、向上評価をして振り返りを行ってあります。	今後も継続して実施していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・定期的なアンケート調査に基づき、環境や支援内容の評価を、年間実施で把握し、業務改善に活用してあります。	今後も保護者様向けのアンケートを定期的に実施し、業務改善につなげてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・適宜、研修、終わりの時間を確保し意見の交換を行ってあります。	今後もICTとでも活用させていただきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・未着による社内評価を実施してあります。	第三者による外部評価については行ってありません。今後の検討課題とさせていただきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を実施する機会が確保されているか。	○		・定期的に研修チームから研修の紹介があり、職員にむけて有意義な参加を促しており、社内で必要とされる研修については、職員全体で取り組む体制が整ってあります。	社内研修の強化に努め、職員の専門性を高める取り組みを継続して行っていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・作成プログラムの作成・公表を行ってあります。	今後4月上旬に公開させていただきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、支援後等ディサービス計画を作成しているか。	○		職員会議を行い、通園中や家庭支援などでこどもと保護者のニーズ等を把握し、計画作成をしております。	今後もアセスメントの頻度を上げ、利用者様の特別や保護者様のニーズの変化把握に努め、個別支援計画書作成に活かしていくことを実施していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員会議を行い共通認識のもと話し合い行ってあります。	今後も継続して実施していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者より職員に共有され、計画に沿って支援を行っております。	今後も継続して実施していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している。	○		日頃的な行動観察や記録を通じて、定期にてこどもの状態を把握し、それを支援内容に活かしております。	今後も継続して実施していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらいおよび支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・定期的に家族支援や地域連携活動を行ってあります。 ・保護者やご家族にアンケートを取り、必要に応じて実施しております。	今後も継続して実施していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムの立案にあたり、職員間で情報を持ち寄り、意見を出し合い、チーム全体で協力して立案を行ってあります。作成後はチーム内で全体で把握を共有しております。	今後もより多様な意見を取り入れながら、よりよい活動プログラムを立案できる体制を実施していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		同じ活動が続かないよう、前回の活動内容や利用予定を定期的に振り返り、多様性を持たせる工夫を行ってあります。 ・毎日個別活動を計画的に組み込んだおります。	今後も継続して実施していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別活動と集団活動の両方を準備し、子ども一人ひとりの状況やニーズに合わせた対応を行ってあります。 ・集団活動の割合が多いですが、行動面な場面個別に行ってあります。	今後も継続して実施していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼や終礼などで毎日行なわれており、チーム全体で連携して支援を行ってあります。	今後も継続して実施していきます。
	21	支援終了後には、職員間でためず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼や日い職務で特長と職務を毎日行っており、特記事項は記録に残し、課題ごとにまとめて共有などを行っております。	今後も継続して実施していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		終礼や日い職務で特長と職務を毎日行っており、特記事項は記録に残し、課題ごとにまとめて共有などを行っております。	今後も継続して実施していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に話し合って、子どもの様子に合わせて作成しております。	今後も継続して実施していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を按排組み合わせて支援を行っているか。	○		活動が偏らないように毎日計画作成に組み合わせ てあります。	今後も継続して実施していくと共に、サンクス氷ポアースクールの理念までの思い取り組みなど参考にし、より個別な支援内容を準備していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子どもの活動を子どもたち主体で行い、責任をって取り組を行う場合を設けてあります。	今後も継続して実施していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況を よく理解した 専門 的 職が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者およびその利用者様の担当者が参加しております。	今後も継続して実施していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		児童発達支援管理責任者およびその利用者様の担当者が参加しております。	今後も継続して実施していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校の校区の先生と定期的に面談を行い、事業所での様子や学校での出ごしについて情報を共有してあります。 ・市内他の情報共有を通して、支援の参考資料、書類に整理して保管をしております。 ・必要に応じて、学校との情報共有を行い、家庭の状況とも連携した支援を行ってあります。	今後も継続して実施していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		情報共有、および面対かる場合は、面対を重にしたり、書類を行ってあります。	今後、新たに利用となる利用者様には面接者様の同意の元で、情報共有に取り組んでまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している。	○		家族に引き引き渡先、家庭先に保護に引き、情報の共有をするなど、より良い環境で自立できるような取り組みを行ってあります。	保護者様のニーズをくみ取った上で、今後も実施してまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて、専門機関との情報共有や研修を 実施してあります。	当事業所における課題等を児童発達支援センター等に相談する などの連携を 検討いたします。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・他の施子イとの交流を行ってあります。（ひひフィイベント参）	今後も継続して実施していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		定期的の参事時終的合に参加させていただいております。	今後も積極的に参加してきます。
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時や面談面談の際に保護者と密に情報を共有し、子どもの状況や課題について共通理解を持つよう努めております。 ・定期的なコミュニケーションを通して、支援内容や改善し、子どもの発達を支援してあります。 ・面談支援の一覧として、事業所で取りかたの目的や伝えるための情報開で交換を行い、再度へのフィードバックを実施してあります。 ・保護者との面談を実施し、子育ての悩みや相談をしてあります。 ・支援の保護者に対して、面談の実施を促す連絡を行い、支援報告を 実施 してあります。	連絡帳等を有効活用し、日々の状況をより詳しく共通理解できるよう検討してまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の場合や情報提供等を行っているか。	○		・ペアレントトレーニングを実施いたしました。保護者様同士の交流の場になりとても アットホーム な雰囲気になりました。	今後も継続して実施していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際や変更があった際に、職員と 十分 時 をかけていただいております。	今後も継続して実施していきます。 また、支援内容が分かりやすく説明できるよう改めて職員への周知を行うてまいります。
	37	放課後等デイサービス開始を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談時や面談時などで意向をお伺いしております。	今後も継続して実施していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を元しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		面談時などで計画を示しながら説明を行っております。	今後も継続して実施していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		事業面談や場りの面談の際に、事前で相談り面などがった場合は学歴に対応できるよう職員でのエーティの時間を設けております。	今後も継続して実施していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい児 土で交流する機 械を設ける等の支援をしているか。	○		面談やレクリエーションを通じて、楽しく参加して たのしんでよう記載してあります。	今後も継続して実施していきます
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	○		・ 文の伝の時もてが周知し、職務を負の状況を把握するようにし、苦情などに対して職務が重複を防ぐ為の組み作り、迅速かつ適切な対応を心掛けております。 ・苦情の窓口や、意見箱を設置してあります。	今後も継続して実施していきます。
	42	定期的に通信等を発行とともや、HP やSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・アプリで学校やシステムアプリ、HP等で情報発信を行ってあります。	今後も継続して実施していきます。
	43	個人情報の取扱いにそ分留意しているか。	○		書類などは鍵付きのキャビネットで管理してあり、写真等も個書様のご責任をお伺いしたうえで取り扱いしております。	今後も継続して実施していきます。
	44	障害のあるこども保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・ご本人様に応わやすい方法を検討し、実施しております。	今後も継続して実施していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・当所事業所の施設開放を前提にあらゆるさなどのイベントに参加してあります。	今後、自事業所でも開催できるよう企画検討していきます。
非常時等の対応	46	緊急防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各マニュアルはデータとして保存され、適宜としてもファイリングされており、職員全員がその場所を把握してあります。 ・必要に応じて、職員向けつでの確認できるよう掲示や配布されております。	今後もセンリングなどの場合を利用して緊急時様にも個時を行っていくよう実施していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・定期を通て、大災訓練を行ってあります。	想定される災害などに関して行政と確認をしながら今後も対応を検討してまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・保護者様から状況をお伺い し、対応させていただいております。	今後も継続して実施していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者様から食物やアレルギー面の対応をお伺いし、対応させていただいております。	今後も継続して実施していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成し職員が、他の職務へしっかり活用し、危険や計画や共有できるようにしております。 ・面時の際などで保護者様に周知しております。	今後も継続して実施していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、事務等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、事務等へ周知しているか。	○		・面時の際などで保護者様に周知しております。	今後も継続して実施していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットを記入した職務が、他職務へ報告書を提出し、話題の職務まで確実に行っています。 ・職務内容を基に、再発防止策を講じ全員が共有しております。	定職務にてヒヤリハットの周知を行い、事故などにつながらないような定期的なエーティングや今後も継続して実施していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		社内での虐待防止事務会を設置しており、定職員への周知を行っていきます。	社内で虐待防止事務会を設置しており、定職員への周知を行っていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・契約の際など、安全面・危険面等を十分理解したうえで保護者様に周知し、記載しております。	今後も継続して実施していきます。